

1. 試験目的 肥効確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市藤代	(2)実施農家	佐藤 光二
(3)実施支店	弘前西支店	(4)担当者	福田 静
(5)概要			
品種	はれわたり	播種量	200 g / 箱
播種日	4月20日	苗の種類	稚苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月14日
移植日	5月17日	活着状況	普通
中干し	6/30~7/10	落水日	8月28日
収穫始め	9月16日		

(6)試験構成  
 試験面積 70 a ( 試験区 35 a 対照区 35 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)						
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K			
基肥	てまいらずA	5月15日	80	12.0	16.0	12.0						
	水稻一発444	5月15日										
追肥												
合計			80	12.0	16.0	12.0	50	12.0	7.0	7.0		

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	22.2	4.0	4.6	30.4	10.7	6.3	44.4	17.5	8.4	75.5	21.0	10.3
対照	24.1	4.2	4.7	31.3	9.4	6.5	40.7	18.0	8.2	76.1	21.0	10.4
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月3日	7月29日	82.1	20.1	23.5	603	538	65.2	81%	67	7.2	0.2
対照	7月3日	7月29日	83.8	20.5	25.5	702	662	39.9	-	75	6.4	1.8

(2)農家の意見

特に問題なく使用できた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	2	3	3	2

(2)評価の理由

施用効果	施用効果から
実用性	対照区と同等
使いやすさ	対照区と同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的

肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	大鰐町 八幡館	(2)実施農家	三上 豊
(3)実施支店	大鰐支店	(4)担当者	寺田 佳洋
(5)概要			
品種	はれわたり	播種量	150 g / 箱
播種日	4月17日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月17日
移植日	5月21日	活着状況	普通
中干し	6月29日	落水日	8月31日
収穫始め	9月18日		

(6)試験構成

試験面積 50 a ( 試験区 30 a 対照区 20 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)							
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K				
基肥	てまいらずA	5月6日	60	9.0	12.0	9.0							
	ニューてまいらず	5月6日											90
追肥													
合計			60	9.0	12.0	9.0	90	9.0	18.0	12.6			

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	22.9	4.8	3.8	33.4	11.0	5.5	47.5	13.3	7.3	73.1	20.0	8.7
対照	28.7	4.9	3.9	26.7	11.4	5.7	47.2	13.9	7.2	75.4	22.8	9.0
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月26日	7月29日	67.5	24.9	19	601	545	56.3	121%	73	6.5	0.6
対照	7月26日	7月29日	64.8	24.0	15	571	450	15.4	-	79	5.9	1.8

(2)農家の意見

効果は同等であったが、施用量が少ないため省力化につながるのでは

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的

肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	大鰐町 唐牛	(2)実施農家	藤田 勉
(3)実施支店	大鰐支店	(4)担当者	寺田 佳洋
(5)概要			
品種	はれわたり	播種量	150 g / 箱
播種日	4月20日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月15日
移植日	5月18日	活着状況	普通
中干し	7月1日	落水日	9月2日
収穫始め	9月14日		

(6)試験構成

試験面積 60 a ( 試験区 30 a 対照区 30 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)			
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K
基肥	NA水稻一発6号	30	9.0	3.6	1.8				
	一発あど楽					46	9.2	6.9	6.9
追肥									
合計		30	9.0	3.6	1.8	46	9.2	6.9	6.9

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	24.8	5.1	4.2	34.7	10.5	5.5	50.0	16.8	6.9	70.7	19.5	8.8
対照	21.5	5.6	4.3	32.2	10.2	5.6	49.6	17.9	7.1	68.1	20.8	9.3
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月27日	7月30日	74.3	21.9	17.8	410	394	15.2	119%	80	5.8	1.2
対照	7月27日	7月30日	69.5	21.1	17.1	347	331	16	-	80	5.8	0.7

(2)農家の意見

15kg袋につき軽く施用が容易であった。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	4	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	15kg袋のため省力的。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効確認。

2. 試験内容

(1)実施場所 小栗山字福岡 (2)実施農家 相馬 英一

(3)実施支店 弘前東支店 (4)担当者 藤田 静剛

(5)概要

品種 はれわたり 播種量 150 g / 箱  
 播種日 4月13日 苗の種類 中苗 ・ ハウス  
 ほ場の土性 埴壤土 代かき日 5月16日  
 移植日 5月19日 活着状況 良好  
 中干し 6月28日 落水日 8月25日  
 収穫始め 9月20日

(6)試験構成

試験面積 57 a ( 試験区 29.4 a 対照区 27.6 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)			
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K
基肥 NA 水稻一発6号	4月25日	37	11.0	4.4	2.2				
水稲春一発	4月25日					55	11.0	11.0	7.7
追肥									
合計		37	11.0	4.4	2.2	55	11.0	11.0	7.7

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	27.8	4.4	5.0	37.3	8.7	6.9	48.6	15.4	8.8	72.8	20.3	10.4
対照	30.9	4.3	5.3	40.7	10.6	7.3	54.9	20.0	9.0	75.9	23.9	10.5
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月11日	7月29日	84.3	18.8	21.8	580	546	34.5	93%	72	6.6	0.8
対照	7月11日	7月29日	87.5	20.3	24.7	638	587	50.6	-	68	7.0	0.7

(2)農家の意見

試験区 試験区の生育が対照区と比較し劣る感じがする。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果 対照区とほぼ同等のため。  
 実用性 対照区と同等のため。  
 使いやすさ 対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効および肥料殻対応の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市新里	(2)実施農家	福土 恵裕
(3)実施支店	和徳	(4)担当者	泉 荘
(5)概要			
品種	まっしぐら	播種量	140 g / 箱
播種日	4月15日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月14日
移植日	5月19日	活着状況	良好
中干し	6月26日～7月17日	落水日	8月25日
収穫始め	9月24日		

(6)試験構成

試験面積 35.5 a ( 試験区 17 a 対照区 18.5 a )

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)			
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K
基肥 SCU入り水稻一発468	5月4日	80	11.2	12.8	6.4	/			
水稻春一発	5月4日								
追肥									
合計		80	11.2	12.8	6.4	110	11.0	11.0	11.0

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢(葉)	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢(葉)	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢(葉)	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢(葉)
試験	38.4	4.5	5.1	51.0	16.9	7.0	63.3	25.8	8.9	77.4	22.7	10.8
対照	36.7	4.0	5.1	47.3	13.1	7.1	60.8	23.4	9.0	78.1	24.7	10.8
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重(kg/10a)	精玄米重(kg/10a)	くず米重(kg/10a)	収量比(%)	食味値	タンパク(%)	胴割率(%)
			稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/株)							
試験	7月2日	7月30日	82.3	19.1	22.5	696	664	27.2	98%	79	5.8	2.3
対照	7月2日	7月30日	83.6	19.2	22.9	710	678	28.1	-	78	6	1.3

(2)農家の意見

対照区と試験区を比較して違いは感じられなかった。価格次第では使用してみたい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効および肥料殻対応の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市藤代	(2)実施農家	佐藤 光二
(3)実施支店	弘前西支店	(4)担当者	福田 静
(5)概要			
品種	まっしぐら	播種量	200 g/箱
播種日	4月20日	苗の種類	稚苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月16日
移植日	5月20日	活着状況	普通
中干し	6/30~7/10	落水日	8月28日
収穫始め	9月13日		

(6)試験構成

試験面積 40 a ( 試験区 20 a 対照区 20 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)			
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K
基肥 SCU入り水稻一発468(仮)	5月20日	85	11.9	13.6	6.8				
水稻一発444	5月20日					50	12.0	7.0	7.0
追肥									
合計		85	11.9	13.6	6.8	50	12.0	7.0	7.0

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	32.9	4.0	4.7	41.7	21.4	6.7	56.6	32.3	8.4	86.2	36.7	10.4
対照	27.3	4.1	4.6	35.3	15.1	6.6	49.7	21.3	8.2	81.0	29.5	10.3
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月12日	7月28日	90.2	20.8	37.3	668	597	71	113%	68	7	1.7
対照	7月12日	7月28日	86.4	21.6	31.7	598	529	69.1	-	64	7.5	1.1

(2)農家の意見

特に問題なく使用できた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	4	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	効果面から
実用性	対照区と同等
使いやすさ	対照区と同等

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効および肥料殻対応の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市新里	(2)実施農家	福土 恵裕
(3)実施支店	和徳	(4)担当者	泉 荘
(5)概要			
品種	まっしぐら	播種量	140 g / 箱
播種日	4月15日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月14日
移植日	5月19日	活着状況	良好
中干し	6月26日～7月17日	落水日	8月25日
収穫始め	9月24日		

(6)試験構成

試験面積 37 a ( 試験区 18.5 a 対照区 18.5 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)						
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K			
基肥	水稻春UF一発	5月4日	110	11.0	11.0	11.0						
	水稻春一発	5月4日					110	11.0	11.0	11.0		
追肥												
合計			110	11.0	11.0	11.0	110	11.0	11.0	11.0		

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	32.7	5.1	5.3	43.6	18.5	6.9	59.0	29.2	8.8	77.2	25.9	10.7
対照	36.7	4.0	5.1	47.3	13.1	7.1	60.8	23.4	9.0	78.1	24.7	10.8
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月2日	7月30日	85.8	19.4	24.9	669	636	82.4	101%	80	5.8	2.1
対照	7月2日	7月30日	83.6	19.2	24.5	654	630	31.7	-	78	6	1.3

(2)農家の意見

遠観では違いは感じられなかった。価格次第では使用してみたい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的

肥効および肥料殻対応の確認

2. 試験内容

(1)実施場所	弘前市土堂	(2)実施農家	山本 修平
(3)実施支店	弘前西支店	(4)担当者	福田 静
(5)概要			
品種	青天の霹靂	播種量	130 g / 箱
播種日	4月15日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月15日
移植日	5月20日	活着状況	普通
中干し	6月30日	落水日	8月25日
収穫始め	9月10日		

(6)試験構成

試験面積 45 a ( 試験区 25 a 対照区 20 a )

資材名	施用日	試験区(kg/10a)				対照区(kg/10a)							
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K				
基肥	水稻春UF一発	5月10日	80	8.0	8.0	8.0							
	水稻春一発	5月10日					80	8.0	8.0	8.0			
追肥													
合計			80	8.0	8.0	8.0	80	8.0	8.0	8.0			

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	33.8	4.3	4.7	36.6	15.0	6.6	57.0	16.4	8.4	80.5	17.7	10.6
対照	34.9	4.9	4.7	36.4	18.9	6.8	58.8	18.5	8.7	79.4	19.2	10.7
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	6月28日	7月28日	80.3	19.1	17.4	617	588	29.7	87%	81	5.6	1.9
対照	6月28日	7月28日	77	18.8	18.3	696	674	21.3	-	80	5.7	3

(2)農家の意見

特に問題なく使用できた。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	2	3	3	2

(2)評価の理由

施用効果	施用効果から
実用性	対照区と同等のため
使いやすさ	対照区と同等のため

(3)その他特記事項



1. 試験目的 肥効および肥料殻対応の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	藤崎町亀岡	(2)実施農家	奈良岡 徹
(3)実施支店	和徳支店	(4)担当者	泉 荘
(5)概要			
品種	はれわたり	播種量	150 g / 箱
播種日	4月17日	苗の種類	中苗 ・ ハウス
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月15日
移植日	5月20日	活着状況	良好
中干し	7月1日～7月21日	落水日	8月20日
収穫始め	9月14日		

(6)試験構成

試験面積 60 a ( 試験区 30 a 対照区 30 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	はれわたり専用肥料	5月12日	54	9.7	8.1	5.4				
	オール14	5月12日					70	9.8	9.8	9.8
追肥	ちょいまき追肥	7月13日	6.6	2.0	0.1	0.7				
	ちょいまき追肥	7月13日					6.6	2.0	0.1	0.7
合計			61	11.7	8.2	6.1	77	11.8	9.9	10.5

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	23.1	4.3	5.0	31.5	7.6	6.4	46.4	15.6	8.3	72.3	20.1	10.3
対照	23.8	4.2	5.3	35.6	9.9	7.0	49.2	19.9	8.9	75.5	26.4	10.8
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月5日	7月30日	84.4	19.2	21.8	669	631	38.3	101%	76	6.3	1.2
対照	7月5日	7月30日	89	20.9	21.5	666	625	40.4	-	77	6.1	1.4

(2)農家の意見

試験区と対照区とくらべて同等だったので、価格次第では使用してみたい。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項

1. 試験目的 肥効および肥料殻対応の確認。

2. 試験内容

(1)実施場所	藤崎町中島	(2)実施農家	成田 昇
(3)実施支店	藤崎支店	(4)担当者	鳴海 清志郎
(5)概要			
品種	はれわたり	播種量	185 g / 箱
播種日	4月7日	苗の種類	中苗 ・ 折衷苗代
ほ場の土性	埴壤土	代かき日	5月12日
移植日	5月16日	活着状況	良好
中干し	6月28日	落水日	8月26日
収穫始め	9月13日		

(6)試験構成

試験面積 6 a ( 試験区 3 a 対照区 3 a )

資材名	施用日	試験区 (kg/10a)				対照区 (kg/10a)				
		施用量	N	P	K	施用量	N	P	K	
基肥	はれわたり専用肥料	4月16日	100	10.0	8.3	5.5				
	高度化成オール14	4月16日								
追肥	NK2号	7月10日	8	1.6	0.0	1.6				
	NK2号	7月10日								
合計			108	11.6	8.3	7.1	78	11.4	9.8	11.4

3. 試験結果

(1)生育状況

	6月10日			6月20日			6月30日			7月15日		
	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)	草丈 (cm)	茎数 (本)	葉齢 (葉)
試験	24.9	4.1	5.4	34.2	13.4	7.0	51.5	21.4	8.8	73.6	23.7	10.7
対照	27.5	4.6	5.3	38.0	14.4	7.1	53.5	27.2	8.8	74.0	27.6	10.2
	幼穂形成期	出穂期	8月31日			粗玄米重 (kg/10a)	精玄米重 (kg/10a)	くず米重 (kg/10a)	収量比 (%)	食味値	タンパク (%)	胴割率 (%)
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/株)							
試験	7月5日	7月30日	87.1	23.2	24.2	716	884	30.9	102%	78	6	1.5
対照	7月5日	7月30日	84.2	19.7	23.2	701	864	29.4	-	79	5.9	0.7

(2)農家の意見

生育前半は対象区に比べ若干の遅れが見られていた。はれわたり専用の一発肥料があれば良い。

4. 評価

(1)資材の評価

項目	施用効果	実用性	使いやすさ	総合評価
評価	3	3	3	3

(2)評価の理由

施用効果	対照区と同等のため。
実用性	対照区と同等のため。
使いやすさ	対照区と同等のため。

(3)その他特記事項